

能登半島地震



橋本管機連会長

は違いますが能登町は5人くらいしかいないですね。そうすると、住民の相談に対応していると、地震で漏水した本管復旧の手が回らないんですね。自治体全てで職員が足りないんです。もともと自治体側の水道関係の職員数が割から3割減っていることは聞いていますが、地方都市もこのことですね。ですから、今回みたいに日水協の地方支部だったら名古屋、関東だったら東京、関西は大阪市などが現地に行き指示するんですが、全部わかっていないのが多かったですね。富山の場合は七尾市に入りましたが、配管図がなかったり、石綿管がまだあ



山形市組合による珠州市での活動

くました。ただ、現地の状況が何とわかりません。特に、半島というところで道路が寸断されていまして、行きは輪島の方に回って行けるのですが、帰りは迂回しながら迂回して帰らなければいけません。最初の頃は雪で寒いですし大変でした。宿泊施設がないことが一番ネックでした。あっても素泊まりで、トイレも風呂も使えない。食事も出せない。全部自分で用意しなくてはなりません。当然、コンビニもありません。心機体制については、水道事業者によって違いますが、例えば宿泊施設まで水道事業者が併せて確保してくれるところもあれば、自分で用意してくれというところもあります。例えば広島島の管工事組合も早く現地に入りましたが、金沢市のANAクラウンプラザホテルが取れなかったんです。宿泊料金がとんでも

なく高かったんです。仕方ないことだと思いますが、広島の人はずっと全部取り揃えられなかった町に入りましたが、七尾市もそうでした。3カ所くらい材料置きの場所がありました。道路が下道しかなく、寸断されていて迂回しても足りないものがありました。結句、つたりしました。結局、つたり、ビニル管のTS継手とかあったりして、掘ってみなければわからない。それに合わせて材料もまた取りに行かなくてはなりません。鉄鉄管では昔のFCがあったり、継手部分も修理の部材も全部揃います。例えば七尾市の場合、富山の材料が間に合わない。ですから工事もスムーズにはいきません。

加圧しながら水を入れて、漏水箇所を見つけて、掘ってみなければわからない。それに合わせて材料もまた取りに行かなくてはなりません。鉄鉄管では昔のFCがあったり、継手部分も修理の部材も全部揃います。例えば七尾市の場合、富山の材料が間に合わない。ですから工事もスムーズにはいきません。

した。注文があってもな作られていて、マニュアルを次に行く人に渡した。在庫はうちの倉庫にありました。我々にはありません。その中では在庫を多めにす日便を走らせました。東と出すことの2点です。京から現地に赴いた管工が、それ以外にお困りのこと事業者さんとの対話では、交換で赴いてという話をしました。最初の2カ月は断水がひどいので、最初に行かれたところへ行って話をして、復旧の大きな課題を聞くことができます。題として断水地域をいかに減らすか大変な課題です。



資材を満載し出動を待つ

くました。ただ、現地の状況が何とわかりません。特に、半島というところで道路が寸断されていまして、行きは輪島の方に回って行けるのですが、帰りは迂回しながら迂回して帰らなければいけません。最初の頃は雪で寒いですし大変でした。宿泊施設がないことが一番ネックでした。あっても素泊まりで、トイレも風呂も使えない。食事も出せない。全部自分で用意しなくてはなりません。当然、コンビニもありません。心機体制については、水道事業者によって違いますが、例えば宿泊施設まで水道事業者が併せて確保してくれるところもあれば、自分で用意してくれというところもあります。例えば広島島の管工事組合も早く現地に入りましたが、金沢市のANAクラウンプラザホテルが取れなかったんです。宿泊料金がとんでも

つたりしました。結局、つたり、ビニル管のTS継手とかあったりして、掘ってみなければわからない。それに合わせて材料もまた取りに行かなくてはなりません。鉄鉄管では昔のFCがあったり、継手部分も修理の部材も全部揃います。例えば七尾市の場合、富山の材料が間に合わない。ですから工事もスムーズにはいきません。

加圧しながら水を入れて、漏水箇所を見つけて、掘ってみなければわからない。それに合わせて材料もまた取りに行かなくてはなりません。鉄鉄管では昔のFCがあったり、継手部分も修理の部材も全部揃います。例えば七尾市の場合、富山の材料が間に合わない。ですから工事もスムーズにはいきません。



富山市組合による復旧工事(七尾市)

部材調達へ金沢まで…藤川氏 食料・水を毎日届ける…橋本氏

